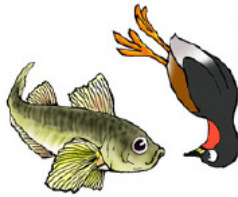


名前

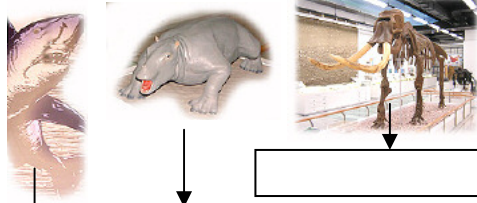
ようこそ、自然展示室へ。ここでは秋田の生物や化石・岩石などを紹介しています。問題をといたり、スケッチしたりしながら、秋田の自然を探検してみましょう。

下の歯の化石はそれぞれどの動物のものでしょうか。線でむすんで、動物の名前を書きましょう。



秋田は日本の中でも石油が多くとれる所です。3つの場所の原油(げんゆ)をくらべてみよう。

	豊川	八橋	由利原
ねばり			



ここにはいろんな動物の骨(ほね)の標本(ひょうほん)があります。

- ・マムシにはしっぽがあるかな? 【 】
- ・カメには背骨(せぼね)があるかな? 【 】



チョウとガは触角(しよっかく)で見分けることができます。オナガアゲハとクロウスタビガの触角を下にスケッチして下さい。

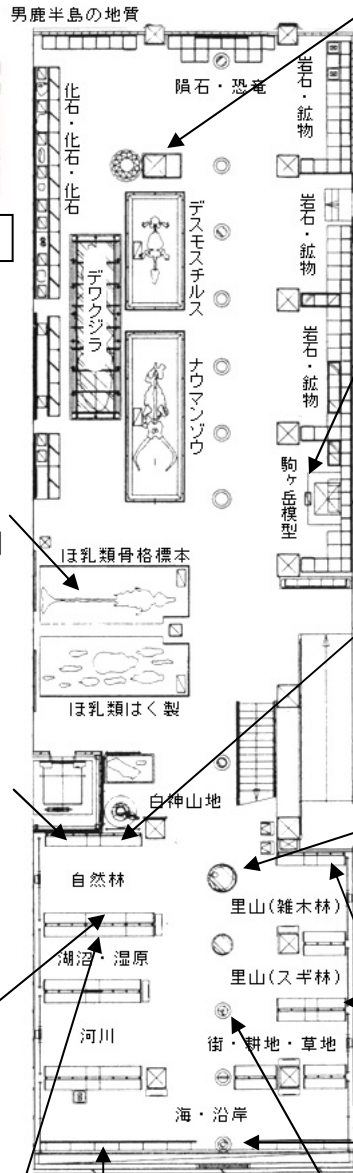
オナガアゲハ	クロウスタビガ
<input type="text"/>	<input type="text"/>



ここにある「オオカメノキ」と「ユキザサ」は葉に形や色以外に大きなちがいががあります。それは为什么呢。葉のうちがわをじっくり見てみましょう。



生物は、生活にあわせて体を変化させながら進化(しんか)しています。カモの足の形をスケッチして、それが何に役立っているか考えてみましょう。



ここでは温泉の近くでよく見られるイオウ鉱石(こうせき)のおいをかくことができます。どんなにおいがするかな?



次の生物は秋田を代表する生物で、秋田の「県の鳥」「県の木」「県の花」「県の魚」に指定(してい)されています。それぞれの名前をしらべて下さい。



生物が身を守ったり、攻撃(こうげき)したりするために他のものに姿(すがた)を似(に)せることを「擬態(ぎたい)」と言います。ここにいるアケビコノハというガは羽を閉じるとあるものにそっくりになります。さて、何でしょう。

【 】

ここには、海にすんでいる魚がいっぱいならんでいます。君が知っている魚の名前を書いてみよう。

- 【 】
- 【 】
- 【 】
- 【 】
- 【 】

秋田に生物は数多くすんでいます。秋田だけにすんでいるものという、この魚しかいません。ただし、残念なことに1940年頃には絶滅(ぜつめつ)していました。この魚の名前は何か?

